

ごあいさつ

新中期計画(V-2計画)に向けて、 体制・基盤づくりをしっかりと行ってまいります。



代表取締役社長
渡邊 陽一郎

第11次三カ年中期経営計画(V-1計画)では、平成29年3月期の連結売上高80億円、連結営業利益8億円を目標に進めてきましたが、今後の事業環境等を勘案し、売上高を62億円、営業利益を2億71百万円に修正しました。事業分野のうち、自動車分野と医療分野は堅調に推移しているものの、大きな売上げ増を見込んでいたライフサイエンス分野のマイクロ流体デバイスの受注が2年後以降になったため

です。他のマイクロ流体デバイスの案件も開発フェーズであり、今期中の量産開始予定ではありませんが、案件を進めているお客様は継続して新たな事業分野にチャレンジする意向があり、当社もお客様のニーズに応えていきたいと考えています。

白河第二工場建設の件は、土壌調査等で時間がかかり、当初予定から約1年ずらして平成29年2月竣工予定としました。福島県からの

補助金も事業年度が変わったことを承認いただき、受領いただけることとなりました。新工場で生産予定のマイクロ流体デバイスの量産化は遅れますが、既存の福島工場、第二福島工場、白河工場、また中国の東莞工場で生産している製品群の今後の展開や拠点の特長を最大限発揮できるようにすることを検討し、生産場所のリロケーションを図っていきます。

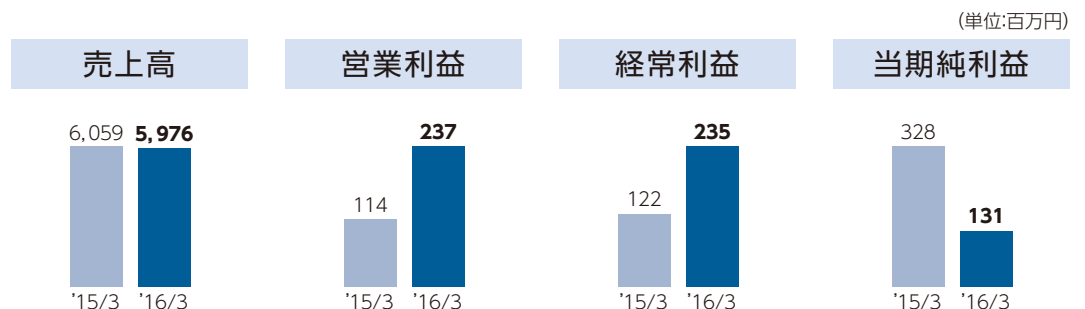
AR-2020 VISIONに向けた次の新中期計画(V-2計画)に向けて、お客様へのお役立ち度が高まるような製品・事業づくり、そして、会社組織を含めた体制・基盤づくりをしっかりと行ってまいります。



第46期 連結財務ハイライト

決算のポイント

売上高は機能性ゴム製品の受注減により減収、利益は前期に特別な費用計上があったことから増益となりました。



平成28年3月期は、自動車内装照明向けのASA COLOR LEDおよび医療用ゴム製品のプレフィルドシリンジ用ガスケットの受注が好調に推移しましたが、機能製品のRFIDタグ用ゴム製品の海外向けの受注が大きく減少し、減収となりました。営業利益および経常利益は、前期に役員退職慰労引当金繰入額の計上等があったことから増益となりました。一方、当期純利益は、前期に特別利益として受取保険金の計上等があったことから、減益となりました。

2017年3月期[V-1計画最終年度]に向けての取り組み

経営方針：「お客様の御役に立つ腕前に集中して更なる発展への道を創造する。」

「V-1計画」では、中期経営方針として、①既存事業の質・量の持続的成長、②新市場・新分野への事業展開、③2020年に向けた事業基盤の強化と整備の3つを掲げています。最終年度となる2017年3月期は、常にお客様に感動を与えて、目標を達成し、あきらめずにやり抜く努力をするプロフェッショナルな行動と考え方を最重視していきます。

着実な事業基盤の強化と積極的に競争優位分野へチャレンジするため、長期に成長できるコア技術・要素技術を明確に磨きながら、自動車・医療・ライフサイエンスの各事業の「最強化」を図ります。また、企業体質強化により構造改革を推進するため、現場密着で資源価値を最大限に高める幹を明確にして、競争力ある企業へ「最強化」していきます。

■ 4つの事業分野

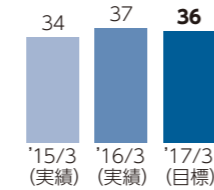
自動車分野

- 主な製品
- ASA COLOR LED
 - ASA COLOR LAMPCAP
 - 接点ラバー、オリング
 - スイッチ用ラバー、防水カバー

ASA COLOR LEDは自動車の内装照明の光源としてさらに拡売を進め、収益の基盤となる利益を稼ぐ当社の主力製品です。また、独自のゴムの配合技術を生かしたスイッチ用のゴム製品の接点ラバーや防水カバーなどが自動車向けに採用されています。

- V-1計画ではさらに合理的なものづくりを追求し、付加価値を高めた競争力ある製品づくりで受注を増やしていきます。

連結売上目標 (単位:億円)



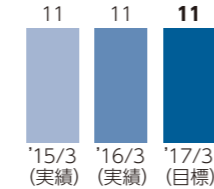
医療分野

- 主な製品
- プレフィルドシリンジ用ガスケット
 - 採血用・薬液混注用ゴム栓
 - 点滴輸液バッグ用ゴム栓
 - 真空採血管用ゴム栓

安全性の高い材料を使用し、ゴムの特性を生かした製品づくりで、医療現場の安全に貢献し、使いやすさを追求したゴム製品を供給しています。さらに次の新製品開発に向けて、要素技術の深掘りを進めます。

- V-1計画では要素技術の深掘りを進めるとともに、分子接着・接合技術を応用したものづくりを確立していきます。

連結売上目標 (単位:億円)



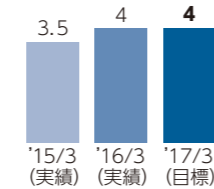
ライフサイエンス分野

- 主な製品
- マイクロ流体デバイス
 - 卓球ラケット用ラバー

卓球ラケット用ラバーは、球を高速で弾く反発弾性や強烈なスピンをかける高摩擦抵抗などを追求した、世界最高品質と性能を持つ製品です。マイクロ流体デバイスは、DNAをはじめ様々な液体や気体を分析する生化学分析デバイスです。

- V-1計画ではマイクロ流体デバイス製品について、市場環境、お客様の状況を見極めて、早期の市場投入に向けて事業化活動を進めていきます。

連結売上目標 (単位:億円)



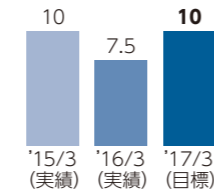
その他分野

- 主な製品
- ASA COLOR LENS
 - ASA COLOR RESIST INK
 - 蛍光体シート
 - RFIDタグ用ゴム製品

RFID用ゴム製品は、ICチップやアンテナ部をゴム素材で覆い、折り曲げに強く、耐水性、耐熱性に優れた、柔らかい小型のICタグです。特に海外の市場で多くの受注をいただいています。他にもLED基板用の高反射率を実現する白色レジストインクやシリコン製透明レンズなど、当社独自の技術を生かして他社に真似のできない製品を展開しています。

- V-1計画では技術力の強化により付加価値を高めて市場投入を図っていきます。

連結売上目標 (単位:億円)



コア技術に注力し、事業分野に製品展開します！



TOPICS

オートモーティブワールド2016に出展し、顧客提案スタート！

平成28年1月13日から15日の間、東京ビッグサイトで開かれた「オートモーティブワールド2016」に当社の技術を生かした自動車用の製品を展示しました。海外の営業拠点間の連携を強化して、グローバルワイドにお客様に密着して受注を獲得する活動を進めています。



■ 工場技術間の連携を深め、体制を強化

工場の特長を生かした最適なものづくりでお客様の期待に応えます。

白河工場

- 電子部品対応
- クリーンルーム仕様

[主な生産製品]

- ASA COLOR LED
- ASA COLOR LAMPCAP
- RFIDタグ用ゴム製品



福島工場

- 一般ゴム製造環境

[主な生産製品]

- 接点ラバー
- オリングなどの自動車向け精密ゴム製品
- 卓球ラケット用ラバー



第二福島工場

- 医療用ゴム製品対応
- クリーンルーム仕様
- 水処理仕様

[主な生産製品]

- プレフィルドシリンジ用ガスケット
- 採血用・薬液混注用ゴム栓



白河第二工場

- 解析・体外診断対応
- クリーンルーム仕様

[主な生産製品]

- マイクロ流体デバイス



2016年6月着工
(2017年2月竣工予定)

自動車分野

医療・ライフサイエンス分野

役員紹介 このたびの第46回定時株主総会で選任され就任しました新任の取締役をご紹介します。



取締役 管理本部長
田崎 益次

このような大役を仰せつかるには、まことに微力でございますが、先輩各位ならびに社員の皆様のご助言、ご協力をあおぎ、業務に邁進してゆく決意でございます。私は技術畑出身でお客様と商品、周囲の皆様にて育てていただきました。当社の強みを更に伸ばしていくために、新しい時代に適応できる集団となり、全体の方向性を理解したうえで、部分はそれぞれの創造力と実行力を発揮できるように取り組んでいきます。皆様方のあたたかいご理解ご協力を心からお願い申し上げます。



取締役 (監査等委員)
鈴木 敦

平成20年から8年間にわたって監査役を務めてきました。経営の様々な会議や、現場での監査活動などを通して、当社の現状と可能性についてより深く考えることができるようになってきました。これからは、引き続き監査委員という立場で、経営の規律を監視すると同時に、社外取締役の立場で当社の可能性を実現するために、微力を尽くしていきたいと考えています。

株式の状況／会社概要 (平成28年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	11,500,000株
発行済株式の総数	4,618,520株
株主数	3,038名

大株主

株主名	(株) 持株数	(%) ^{*1} 持株比率
有限会社伊藤コーポレーション	567,500	12.5
伊藤 尚美	226,000	5.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	222,528	4.9
株式会社武蔵野銀行	196,500	4.3
株式会社東邦銀行	147,400	3.2

*1 持株比率は自己株式(70,912株)を控除して計算しております。

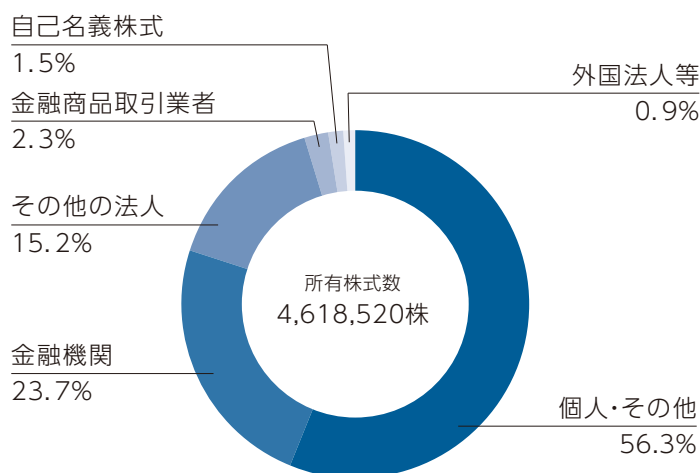
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQスタンダード)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.asahi-rubber.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金の振込指定その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

所有者別株式の分布状況



会社概要

商 号	株式会社朝日ラバー (ASAHI RUBBER INC.) http://www.asahi-rubber.co.jp/
所 在 地	埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2
設 立	昭和51年6月 (創業 昭和45年5月)
資 本 金	5億1,687万円
証 券 コード	5162
正 社 員 数	271名
主な業務内容	工業用ゴム製品の製造・販売
主な事業所	本社：埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2 大阪営業所／名古屋営業所／福島工場／ 第二福島工場／白河工場
役 員 ^{*2}	取締役会長 横山 林吉 代表取締役社長 渡邊 陽一郎 取締役 高木 和久 取締役 滝田 充 取締役 田崎 益次 取締役(監査等委員)(社外) 鈴木 敦 取締役(監査等委員) 亀本 順志 取締役(監査等委員)(社外) 馬場 正治

*2 平成28年6月21日現在